

令和5年度

事業報告書  
(決算書)

公益財団法人山口市文化振興財団

# 1 事業報告

## (1) 事業概要

「山口市における文化の振興を図るため、企画事業を実施するとともに、市民の自主的かつ創造的な文化活動を支援促進し、もって個性豊かな地域社会の形成と市民生活の向上に寄与する」という財団設立時の趣意書に掲げる目的を達成するため、事業開始 28 年目を迎えた令和 5 年度において、以下の事業を実施しました。

事業のうち、定款第 4 条第 1 号に掲げる“市民の文化振興に関する事業の企画実施（以下「企画事業」という。）”においては、山口市から管理運営を受託している山口市民会館、中原中也記念館、山口情報芸術センターをはじめ、市内にある他の文化施設等を活用し、演劇公演、公開講座、展示、展覧会、教育普及事業等を、年間を通して実施しました。

その中でも、令和 5 年は山口情報芸術センター開館 20 周年の節目の年であることから、山口情報芸術センターでは、「Axis of Experience 創造の渦巻き」というコンセプトのもと、様々な事業で多くの市民に文化芸術に触れる機会を提供しました。アート制作にあたっては、市民や地域資源のリサーチに基づいた作品制作や、市民の創造性を共有する展覧会などを実施し、制作や展示、応用の過程で市民と協働し、市民を巻き込んだ企画の実施によって、市民の文化芸術への理解を深める契機とすることができました。

同条第 2 号に掲げる“市民の文化活動の育成及び支援(以下「育成・支援事業」という。)”におきましては、当財団の目的及び事業に賛助する市民との機能的な連携を図るため、平成 9 年度に発足した「公益財団法人山口市文化振興財団友の会“Ars Nova Yamaguchi”」の会員加入促進に努めました。

また、市民の自主的かつ創造的な文化活動を助成する「市民文化活動支援事業」を継続して実施し、市民の自主的な文化活動を積極的に支援することで、山口市の文化振興を図りました。

同条第 3 号の“文化振興に関する調査研究（以下「調査研究事業」という。）”においては、山口市所管課と連携した関係資料の調査、収集、複製の製作等により中原中也研究を推進するとともに、自主企画展事業に関する調査及び研究を行いました。

同条第 4 号の“文化に関する情報の収集及び提供（以下「情報収集・提供事業」という。）”においては、自主企画事業を広く市民に情報提供する情報誌として、「a n y」を年間 4 号発行いたしました。

また、山口市民会館においては施設における催物案内を、中原中也記念館においては中原中也研究に関わる情報提供のための館報を発行いたしました。

このほか、同条第 5 号の“文化施設の管理運営（以下「施設管理受託事業」という。）”においては、受託施設の維持管理業務として施設の安全及び保守を図るとともに、施設の利用促進等を図るための利用許可業務、利用料及び観覧料徴収等の受付業務を行いました。

## （２） 企画事業

山口市からの管理運営受託施設である山口市民会館、中原中也記念館及び山口情報芸術センターにおいて、各施設の機能を生かしつつ、文化振興に関する各種企画事業を実施し、文化に触れる機会、参加する機会の拡充を図りました。

### ① 事務局

国内外で活躍中の最も旬な演奏家らによる、室内楽コンサートの新シリーズの第二弾として、ロン=ティボー国際音楽コンクールにて優勝、併せて「聴衆賞」「評論家賞」の 2 つの特別賞を受賞するなど、世界が注目する 21 歳の俊英ピアニスト、亀井聖矢を迎えてソロ・リサイタルを行いました。

このほか、夏休みに親子で舞台公演を楽しんでもらう企画として 2 つの海外パフォーマンス作品の公演や、歌舞伎の演目として広く知られる義経一行の関所越えを描いた忠義の物語を大胆に再構築した木ノ下歌舞伎の代表作「勸進帳」の上演など、広域的かつ幅広い年齢層を対象として、舞台芸術や日本の伝統芸能、室内楽コンサートに触れる機会の提供を行いました。

また、「亀井聖矢ピアノ・リサイタル」においては翌日に市内の支援学校 2 校を訪問し演奏を披露したほか、「ストラディヴァリウス・サミット・コンサート 2023」においては公開リハーサルに市内の支援学校等 2 校および盲人協会の方の招待や、「木ノ下歌舞伎」では聴覚障がいや視覚障がいがある方に対する鑑賞サポートを実施するなど、障がいのある方の鑑賞機会拡大の取組も実施しました。

### ② 山口市民会館

第 18 回シヨパン国際ピアノ・コンクールで日本人として半世紀ぶりの第 2 位を受賞したピアニスト反田恭平と、彼がプロデュースする Japan National Orchestra によるコンサート「反田恭平プロデュース ジャパン・ナショナル・オーケストラ 2023 夏ツアー」を開催し、チケットは完売で満席盛況のなか、ピアノとオーケストラの魅力を十分に味わえる多彩なプログラムで観客を魅

了しました。

また、「ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団山口公演」においては、ウクライナの平和を願い、公募で集まった合唱団がウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団と「第九」の共演、圧巻で感動のステージとなりました。

このほか、地元山口県出身のピアニスト小林愛実によるソロ・リサイタル、落語、交響楽団の演奏会や市民コンサートなど、たくさんの方にご参加いただけるような事業を実施しました。

### ③ 中原中也記念館

令和6年2月18日に開館30周年を迎え、さまざまな記念事業の展開に向けた準備として、令和5年度は、30周年記念ロゴマークの作成、オリジナルグッズ第1弾の制作、観覧ポイントカードの配布、各種広報のほか、参加型企画として、記念事業のアイデアを一緒に考えるYouTube配信やグッズとして商品化するTシャツデザインコンテストを行いました。

また、収蔵資料の高精細デジタル化と公開、中学生向けデジタル版副読本の編集などに着手するとともに、事業検討委員会を設置し、記念館における今後10年間の事業の方向性についての協議・検討を開始しました。

また、いわき市立草野心平記念文学館協力のもと、「蛙」をモチーフとした詩で知られる詩人・草野心平と中也との深い交友と、心平の詩の魅力について紹介した特別企画展「草野心平と中原中也」などの企画展示のほか、展示関連イベント、公開講演や創作ワークショップを開催するなど、多様なアプローチから中也の詩の世界に触れる機会を提供しました。

### ④ 山口情報芸術センター

20周年記念事業として、台湾の3人のアーティストとの共同制作による映像とライブパフォーマンスからなる作品の展覧会「浪のしたにも都のさぶらふぞ」のほか、かつて数多く存在していた山口市の映画館の記憶を地域に眠る資料や200人を超える関係者へのインタビューを通じて振り返る展覧会「Afternote 山口市 映画館の歴史」などを開催しました。

このほか、「あそべる図書館」は、令和2年から4年間に渡って開催したアートセンターの役割を再考する「Alternative Education プロジェクト」の集大成として開催し、地域にあるアートセンターとして、受動的な鑑賞ではなく、能動的な「活動・関与・体験」に重点を置き、市民が知識やアイデアを共有し、地域のアーティストはもちろんのこと、市民誰もが様々な創造活動拠点となるモデルを提案することができました。

また、「YCAM オープンラボ」では、20周年を迎えその成果について市民とともに共有するとともに、今後の方向性について共有する機会とすることができました。

このほか、教育普及に関する企画実施や、過去作品の市内での展示など様々な事業を実施し、たくさんの方にアートに触れていただく機会を創出するとともに、これまで同センターが培っ

てきた知見を活かし、山口市中心市街地活性化推進室や山口市教育委員会との連携事業を実施し、山口市の教育やまちづくりに貢献しました。なお、教育委員会と連携して取り組みを進めております、「やまぐち子ども未来型学習プロジェクト」につきましては、令和5年度に第17回キッズデザイン賞優秀賞経済産業大臣賞や、2023年度グッドデザイン賞を受賞するなど外部からも評価も得ています。

### (3) 育成・支援事業

財団の目的及び事業を賛助する市民等を組織化するため、平成9年度に発足した財団友の会の継続とともに、市民の文化活動に助成金を交付して支援する「市民文化活動支援事業」を行いました。

#### ① 友の会の組織化と運営

財団の目的及び事業に賛助する市民と機能的な連携を図るために発足した「公益財団法人山口市文化振興財団友の会 Ars Nova Yamaguchi」(呼称：エニー)の会員加入促進に努めるとともに、積極的な情報提供を行いました。

- ・発足時期 平成9年4月1日
- ・会費 入会金(更新時には不要)：500円、年会費：1,500円
- ・会員特典 チケットの優先予約・割引購入、チケット・情報資料の無料郵送  
ワイカムシネマ及び中原中也記念館の招待券贈呈
- ・会員数(令和6年3月31日現在) 1,832名(参考：前年3月31日現在 1,342名)

#### ② 市民文化活動支援事業

営利を目的としない個人、団体等が行う文化事業に助成する事業として、審査を経た13件に助成を行いました。

- ・実施期間 令和5年6月1日～令和6年2月28日
- ・応募件数 14件(うち1件は不採択)

#### 助成団体一覧

	申請者名	申請事業の名称
1	大野 進二	地域を描くビデオ映像の制作
2	日伊協会YOVe' ST山口 ロベルト・ピビリ	日伊合同写真展Paesi2023
3	山口日独協会 フランツ・エムデ	クラシック音楽の演奏会
4	山口鷺流狂言保存会 会長代理 野村 和司	山口鷺流狂言保存会 令和5年度定期公演

		～伝承される芸能で山口の魅力を高める～
5	明日を紡ぐ大地の会 福島 光子	2023 市民みんなの文化祭 ー「市民文化共同発表会」20回記念公演ー
6	UB Eccentrix Party 福田 由紀	MUSIC Party & Workshop
7	イフクキョウコ	コンテンポラリーダンス振付ワークショップ
8	山口県合唱連盟 理事長 有富 美子	山口県総合芸術文化祭2023・第78回合唱コンクール山口 県大会
9	仁光寺座 中川 逸夫	仁光寺ふれあい祭り 錦秋特別公演『剣客商売』
10	山口オペラアカデミー 白岩 洵	山口オペラアカデミー第4回オペラセミナー&コンサート
11	山口の朗読屋さん 林 伸一	金子みすゞ生誕120年記念朗読会(みすゞリレー朗読会)
12	山口・おごおり昔話研究会 右田 朱実	紙芝居でいろいろチャレンジ
13	ローディング・エレファント 時里 麻里	ローディング・エレファント ゲストシリーズ2023

#### (4) 調査研究事業

##### ① 中原中也研究

関係資料の調査、収集、複製の製作等により、中原中也研究を推進しました。

##### ② 自主企画事業に関する調査及び研究

事業企画の研究のため、公演ごとのアンケート調査を随時行いました。

#### (5) 情報収集・提供事業

##### ① 山口文化情報誌「a n y」の発行

財団の事業を広報し、収集した市内及び周辺の情報情報を定期的に提供する情報誌として、「a n y」を年間4号発行しました(第123～126号、各A4版5,500部)。

##### ④ 「中原中也記念館 館報」第29号の発行

中原中也記念館の年間活動記録、新資料の紹介、関係者の寄稿などを掲載した「中原中也記念館 館報」の第29号を発行しました(令和6年3月31日発行、A4版、2,500部)。

③ ホームページによる情報提供

財団及び山口市民会館、中原中也記念館、山口情報芸術センターのウェブサイトにより、イベント情報等を随時発信しました。

企画事業一覧  
財団事務局

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
森山直太郎 20th アニバーサリーツアー 「素晴らしい世界」<後篇>	5月13日(土) 場所：山口市民会館	歌手のみならず俳優としても活躍する森山直太郎による、デビュー20周年コンサートを開催しました。キャンディー・プロモーション広島、ラグタイムとの共催事業です。	1,350人	前売 一般7,700円
ストラディヴァリウス・ サミット・コンサート2023	5月26日(金) 場所：山口市民会館	世界最高峰の弦楽器といわれる、ストラディヴァリウスが11台も集結する夢のコンサートを2018年以来5年ぶりに開催。演奏するのは世界最高峰のオーケストラ ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のトップメンバーたち。5年ぶりの来日公演ということもあり、期待値が高く多くの来場者を取り込むことができました。またコンサートの前に「公開ゲネ」を実施し、特別支援学校の児童・生徒およびその保護者、市内の盲人協会に所属する方々、近隣の高校の管弦楽部の生徒ら計100名に参加していただきました。いずれの団体からも参加できてよかったと、大きな反響を得ることができました。	1,025人	前売 S席8,000円 A席6,500円 B席5,000円 25歳以下半額
劇団仲間「給食番長」	5月28日(日) 場所：山口市民会館	よしながこうたく原作の人気絵本シリーズの第一作目を劇団・仲間が舞台化した、親子で楽しめる演劇作品を上演しました。認定こどもステーション山口との共催事業です。	14時107人 18時 96人	前売 一般3,500円 25歳以下 2,200円
ハイバイ「再生」	7月8日(土)、9日(日) 場所： 山口情報芸術センター	演劇界の常識を覆したエポックメイキング作、劇団「東京デスロック」の多田淳之介による「再生」を、岩井秀人率いる劇団ハイバイが再演出し上演しました。30分の物語が3回繰り返され、全身全霊のパフォーマンスを繰り広げていく俳優たちの熱量と高まる音楽に、観る者を夢中にさせていく圧倒的なステージが話題を集めました。2日目の終演後には、観客同士や観客と演出家、出演者がラフに感想を共有し合う場を作りました。	8日109人 9日103人	前売 一般 3,000円 特別割引 2,500円 25歳以下 1,500円 高校生以下 500円
ジブリの思い出がいっぱい オーケストラによるドリーム コンサート2023	7月14日(金) 場所：山口市民会館	「ジブリの思い出の名曲」を歌とオーケストラで綴るコンサート。山口県立美術館の展覧会「スタジオリブリ展」の開催時期にあわせて、シンフォニア岩国が主体となって企画し、山口県内の複数の公立文化施設が連携。山口をはじめ、岩国・萩・宇部など県内各地を巡回し、多くの家族が楽しむコンサートとなりました。	416人	一般 4,000円 25歳以下の学生1,000円
ミュージカル 「すてきな三にんぐみ」	7月17日(月・祝) 場所：山口市民会館	演劇企画オフィス・アートプランによる親子で楽しむミュージカル作品を上演しました。黒い帽子に黒いマントのこわ〜いドロボウ三にんぐみの物語。笑いのなかにも感動や発見がたくさん詰まった作品で多くの子どもたちの心に残る作品となりました。認定こどもステーション山口との共催事業です。	14時215人 18時180人	前売 一般3,500円 25歳以下 2,000円

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
夏休みお楽しみシアター アンディ・マンリー 「ベック」	7月30日(日) 場所： 山口情報芸術センター	夏休みに親子で舞台公演を楽しんでもらう海外のパフォーマンス作品第1弾として開催。子どもたちや、若い観客のためのパフォーマンスを専門とする舞台アーティスト、アンディ・マンリーが演出、出演する新作舞台作品「ベック」を上演しました。カラフルな洗濯ばさみを鳥に見立てコミカルなやり取りに子どもたちの笑い声があふれ、また最後には心温まるシーンも盛り込まれた珠玉の作品。公演終了後は、ロビーでアンディ・マンリーと公演を観に来た子どもたちとの撮影会がおこなわれ、アーティストとの交流の場を作ることができました。	11時76人 14時半63人	前売 おとな 2,000円 こども(高校生以下) 500円 *「アナのはじめての冒険」とのセット券あり
【関連】 「とりの森をつくろう！ ワークショップ」	7月15日(土)、16日(日) 場所： 山口情報芸術センター	夏休みお楽しみシアター関連企画。これまでも工作ワークショップの講師を務めていただいている佐々木範子氏、倉田美絵氏の2人によるユニット(クコノッコ)と一緒に、2作品とも「鳥」が登場する作品であることをヒントに、子どもたちに段ボールを使って可愛いカラフルな「鳥」を工作してもらったワークショップを企画しました。1回の定員を6家族として、2日間で計6回開催。最終的に子どもたちの工作した「鳥」を、舞台作品が上演されるそれぞれの会場の入り口に飾りつけました。公演前に入場待ちの時間も楽しんでもらうことができ、舞台公演の出演者たちも含めて、多くの方から反響のあった取り組みとなりました。	計35家族 53人	無料
夏休みお楽しみシアター 「アナのはじめての冒険」	8月2日(水)、3日(木) 場所：山口市民会館	夏休みに親子で舞台公演を楽しんでもらう海外のパフォーマンス作品第2弾として開催。世界中の子どもたちを魅了している、南米チリの劇団テアトロ・デ・オカシオンを招聘し、代表作である「アナのはじめての冒険」を上演しました。心がおどるラテン音楽の軽妙なリズムにのせた楽しいミュージカル作品で、彼らが描き出す世界観に子どもたちだけではなく大人も魅了されました。2日間、計3回の公演を実施。公演終了後は、出演者たちが、自国チリのことを紹介したり、写真撮影会を行う交流の時間も設けられました。また1日目は、公演の前の時間に、山口市民会館の前庭を使って県内在住のふき玉やによるしゃぼん玉パフォーマンスを披露。開場待ちする子どもたちが夢中になってしゃぼん玉を追いかける風景が印象に残りました。	2日 18時55人 3日 11時41人 14時58人	前売 おとな2,000円 こども(高校生以下)500円 *「ベック」とのセット券あり
夏休み工作企画 「ゆらゆらうごく 工作ワークショップ」	8月11(金・祝)~13日(日) 場所： 山口情報芸術センター	クコノッコ(佐々木範子氏、倉田美絵氏)による夏休みの工作企画。オバケやガイコツ、海をおよぐラゲなど、「ゆらゆらうごくもの」をテーマに開催しました。親子で一緒に楽しみながら色をぬったり、絵をかいたり、穴をあけたり、切ったりして、自分だけの表現をみつけていく機会となりました。1日3回、定員6家族にして参加者を募集したところ、当初2日間の予定がすぐに定員に達したため、急遽1日増やし、計9回の実施となりました。	計53家族 148人	無料
松元ヒロ・ソロライブ2023	9月2日(土) 場所：山口市民会館	政治や社会問題に鋭く切り込むネタが持ち味の芸人・松元ヒロによるソロライブを上演しました。認定こどもステーション山口との共催事業です。	157人	前売 一般3,200円

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
木ノ下歌舞伎「勸進帳」	10月21日(土)、22日 (日) 場所：山口情報芸術センター	2010年に初演され、16年、18年にも再演された木ノ下歌舞伎の代表作「勸進帳」を上演しました。義経一行の関所越えを描いた忠義の物語を大胆に再構築し、既存概念を打ち破った本作で、カンパニーの山口初公演を飾り、木ノ下歌舞伎ファンのみならず、演劇ファン、歌舞伎ファンを魅了しました。また、当財団事業の舞台公演では初めての試みとして、字幕機やイヤホンガイドの貸出を行い、視聴覚障がいをお持ちの方や介助者など16名に観劇いただきました。1日目の公演終了後には、木ノ下裕一によるアフタートークを実施。「勸進帳」のできるまでの背景を軽妙洒落なトークで紹介し、会場を盛り上げました。2日目の公演終了後には、公演を観た鑑賞者同士が感想を共有しあう場「アフターアフーカフェ」を企画し、サポートスタッフに所属する大学生がファシリテーターを務めました。	①21日 165人 ②22日 169人	前売 一般 3,000円 65歳以上 2,500円 25歳以下 1,500円 高校生以下 500円
【関連】 道行（みちゆき）ワーク ショップ	10月9日(月・祝) YCAM多目的室	公演開催前に木ノ下裕一を山口に招き、古典芸能にみられる文章表現のひとつ「道行」を体験できる関連ワークショップを開催。高校1年生から大人まで幅広い層が参加し、古典の楽しさ・奥深さに触れる機会となりました。	15人	無料
第2回 わくわく寄席	11月5日(日) 場所： 山口市民会館	本場の寄席公演が楽しめる「わくわく寄席」の第2回公演。今回は山口を拠点に第一線で活躍する講師・神田京子をはじめ、落語家の三笑亭夢丸、雷門音助、三遊亭げん馬、紙切りの林家花をお呼びして開催しました。また、寄席を裏で支えるお囃子方を紹介する寄席囃子教室や、寄席に古くから伝わる小粋で楽しい寄席踊りの披露など、寄席の魅力満載のプログラムでお届けしました。山口ではなかなかお目にかかれる機会の少ない寄席が、一日限定で出現するとあって、大変な盛り上がりとなりました。	160人	前売 一般 3,000円 障がい者割引 2,500円 25歳以下 1,500円
スーパー戦隊スペシャルライブ2023 山口公演	11月23日(木・祝) 場所：山口市民会館	王様戦隊キングオージャーをはじめとして歴代ヒーローたちが集結し、音や光などライブならではの演出や、迫力のアクションで子どもたちを魅了しました。Yab朝日放送との共催事業です。	①12:30 623人 ②15:30 232人	前売 一般 3,000円
DYNAMIC賢者の音Ⅱ 亀井聖矢ピアノ・リサイタル	12月17日(日) 場所：山口市民会館	当財団のオリジナルの企画・制作。国内外で活躍中の最も旬な演奏家らによる、室内楽コンサートの新シリーズの第二弾として、ロン=ティボー国際音楽コンクールにて優勝、併せて「聴衆賞」「評論家賞」の2つの特別賞を受賞し、世界が注目する21歳の俊英ピアニスト、亀井聖矢を迎えてソロピアノリサイタルを行いました。開演前には山口高校管弦楽部、合唱部によるロビーコンサートを実施し、本公演には入場できない小さなお子さん連れのご家族も多く来場していました。コンサート翌日には、市内の支援学校2校を訪問し演奏を披露するなど、幅広い客層の方々に本格的な演奏をお楽しみいただきました。また、コンサートオリジナルの焼き菓子やコーヒーの販売もあり、質の高いコンサートをアットホームな雰囲気味わっていただくことができました。	1338人	前売 一般 3,500円 ペア 6,600円 学生 1,500円

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
ハンガリーの小さな舞台 マイクロボディウム人形劇	1月25日(木)、26日(金) 場所： クリエイティブ・スペース 赤れんが	ハンガリーの人形遣い、レナート・オンドラシュによる人形劇を開催しました。超絶技巧の人形遣いによって、手のひらに乗る小さなサイズの人魚やピエロ、バレリーナの人形たちに、命が宿され、躍動する驚きと感動の作品を披露。さらに25日の親子向け公演では、人形芝居 燕屋による肩掛け人形芝居「ねずみのすもう」も同時上演し、日本の昔話をもとにした物語に子どもたちは釘付けに。26日のおとな向け公演では、1本のローソクの炎に照らし出された幻想的かつ哲学的な舞台もお届けしました。 また、関連イベントとして「人形をつくってあそぼう！」工作ワークショップの実施や、会場ロビーを舞台の世界観さながらに飾り付け、お客様を作品世界に誘い込みました。	25日 58人 26日 53人	前売 おとな 2,000 円 こども(高校生以下) 500 円
小心ズ「ミスしゃっくりの幸せな一日」	3月16日(土) 場所： 山口市民会館	ひとりで暮らす一風変わった気高きご婦人“ミスしゃっくり”の1日を、言葉を使わず音楽と身体だけでユーモラスに描くパフォーマンス公演。年齢問わず誰もが楽しめる作品に多くの観客が訪れました。 認定こどもステーション山口との共催事業です。	157人	前売 おとな 3,500 円 25歳以下 2,700円

## 山口市民会館

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
特撰落語名人会 三遊亭小遊三・林家たい平 二人会	4月30日(日)	毎年恒例となる落語会を開催しました。 笑点でおなじみの噺家が落語を披露、伝統芸能に親しんでいただきました。	1,000人	一般：4,000円
映画上映会 「異動辞令は音楽隊！」	5月14日(日)	県警音楽隊の定期演奏会が行われている事がキッカケで、今回は本作品を上映しました。 映画上映会が徐々に定着してきて、今回は300名を超えるお客を迎える事ができました。	360人	一般：1,200円
DRUM TAO 30周年記念 「THE TAO 夢幻響」	6月24日(土)	30周年を記念した特別公演でした。 究極のドラム・アートにより、多くの来場者に大きな感動と元気を与えていました。	1,150人	S S席：7,900円 S席：6,900円
日本センチュリー交響楽団山 口市特別演奏会「夏の第九」	7月2日(日)	文化庁助成による「オーケストラキャラバン」の一環として本公演を開催しました。 盛夏らしく熱い演奏が行われ、観客の惜しみない拍手が鳴り響いていました。	1,100人	S席：3,000円 A席：2,000円
反田恭平プロデュース ジャパン・ナショナル・オー ケストラ 2023 夏ツアー	9月1日(金)	チケット完売で満席盛況の開催となりました。 多彩なプログラムで観客を魅了、ラストは会場全体が一体となって、反田恭平氏の誕生日を祝福しました。	1,500人	S席：7,000円 A席：6,000円
やまぐちジャズフェスタ 2023	9月3日(日)	地元のジャズ演奏家10組によるメインステージと、中庭スペースでのフリーステージにより、2年ぶりのジャズフェスタが行われ、ジャズファンを中心に盛り上がりました。	250人	一般：2,500円
映画上映会 「ザ・スーパーマリオブラ ザーズ・ムービー」	10月9日(月・祝)	世界的人気を誇る任天堂のアクションゲーム「スーパーマリオ」を題材とした、大人気アニメーション映画を上映しました。 ファミリー層や中学生など、これまでの上映会とは異なった世代の方に来場していただきました。	230人	一般：1,500円
宝くじ文化公演 「岸谷香コンサート」	11月12日(日)	ソロ活動の楽曲だけでなく、プリンセスプリンセス時代の名曲も数多く演奏され、満席となった会場は感動の渦に包まれていました。	1,500人	一般：2,500円
山口きずな音楽祭 vol.10+5 宮川彬良先生のご家族とお仲間 クリスマス市にお帰りな さい	12月2日(土)	「音楽は誰にでも楽しんでほしい」との思いから、大学生以下は入場料無料で開催しました。 クラシック音楽のみならず、朗読劇、市内合唱団とのコラボなど盛りだくさんの内容でした。	600人	一般：3,000円
山口県交響楽団演奏会	12月10日(日)	フィンランドでの活動が長い篠崎靖男氏を指揮者に迎えての演奏会で、本場の「フィンランディア」に、観客から熱い拍手が送られました。 また、開演前のロビーコンサートも好評でした。	1,000人	一般：1,500円
山口きずな音楽祭 vol.10+5 LE VELVETS LIVE	12月25日(月)	毎年恒例となった「山口きずな音楽祭」は、男性ボーカルグループ「LE VELVETS」の圧倒的な歌声と共に、4年ぶりにクリスマス市民クワイアとの「きずな」の大合唱が実現しました。	800人	一般：6,000円

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団 山口公演	12月29日(金)	ウクライナの平和を願い、公募で集まった合唱団がウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団と「第九」の共演、圧巻で感動のステージとなりました。ユニクロの特別協賛による公演記念Tシャツの提供もありました。	1,480人	S席：7,000円 A席：6,000円
第26回ニューイヤーバンドフェスティバル2024	令和6年1月20日(土)	小学生から一般の団体まで、幅広い年齢層が参加し、クラシックや映画音楽、歌謡曲、吹奏楽曲など、様々な曲を披露しました。今回初めての試みとなる、小郡地区の生徒が集まった小郡合同バンドや、学校関係者・一般吹奏楽団員で編成された山口市一般合同バンドの演奏もあり、例年より賑やかな演奏会となりました。	800人	無料
映画上映会 「BLUE GIANT」	令和6年1月21日(日)	音楽ホールならではの環境で楽しんでいただくために、「手拍子&拍手OK」という形で上映しました。事前の問い合わせや反響が大きく、過去最高の来場者数を記録、アンケートでも多くの方からご好評をいただきました。	410人	一般：1,200円
南こうせつコンサート	令和6年1月28日(日)	ソロ楽曲と「かぐや姫」時代の名曲を織り交ぜた内容で、アンコールを含めた17曲を歌い上げ、往年のファンをはじめとする観客は歌声に酔いしれていました。	1,200人	一般：7,500円
ちひろチャリティコンサート	令和6年2月12日(月・祝)	能登半島地震災害復興のためのチャリティコンサートを開催しました。シンガーソングライターのちひろさんの他に、ストリートピアノの奏者5名や、NHKアナウンサーの長野亮さん、当館の松田副館長による演奏もあり、たくさんの方の義援金が集まりました。	300人	無料
小林愛実 ピアノ・リサイタル	令和6年3月10日(日)	宇部市出身でショパンピアノ国際コンクール4位の日本を代表するピアニストによるリサイタルでした。スタインウェイピアノの老朽化があるにも関わらず、観客は演奏の魅力に釘付けで感動に浸っていました。	1,500人	一般：3,500円
第51回市民コンサート	令和6年3月20日(水・祝)	各ジャンルでレベルの高い演奏が続く中、童謡では、それまでの緊張感ある演奏とは違い、聴衆を和ませるステージとなりました。山口ジュニアオーケストラは3曲を演奏。日本人の作曲家、矢代秋雄の「交響曲」第4楽章などの難しい曲を演奏しました。雨風に雲も降る悪天候でしたが、来場者は最後まで聴き入っていました。	500人	無料
(仮)ミニコンサート	開催時期未定	旧軽食喫茶室のスペースを活用して、ミニコンサートを開催します。		

中原中也記念館

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
展示及び関連行事				
第20回テーマ展示 「詩集『山羊の歌』」	令和5年2月15日(水) ～令和6年2月12日(月・祝) ※特別企画展期間を除く	中原中也の第一詩集にして、生前唯一の詩集でもある『山羊の歌』。200部限定出版という、比較的少数数の出版でしたが、小林秀雄、河上徹太郎、草野心平らが高く評価し、詩人・中原中也の名を広く知らしめる本となりました。 『山羊の歌』収録詩全44篇の中には、「サーカス」「汚れつちまつた悲しみに……」といった代表作の他、詩の方針が立ったとする「朝の歌」や、自らの生き方を問いただす「いのちの声」など、読み応えのある詩が多く、刊行からおよそ90年経った現在も、その魅力は失われていません。 本展は、刊行までの紆余曲折、収録詩の解説、刊行後の読者の反応など、さまざまな視点から『山羊の歌』を紹介しました。	16,457人	
企画展 I 「中原中也と関東大震災」	4月19日(水) ～7月23日(日)	1923年9月1日、マグニチュード7.9の大地震が関東地方を襲います。この関東大震災は未曾有の被害を与え、人々の暮らしや文化に大きな変化をもたらしました。中原中也は京都に住んでいたため被災することはありませんでしたが、約1年半後に上京し、復興期の東京で生活しました。 2023年は関東大震災から100年目にあたります。 本展では、当時の状況や文学者・中也の周辺人物の被災体験、災害から生まれた文学などを通じて、文学の背景にある震災の影響を探りました。	4,604人	
特別企画展 「草野心平と中原中也」	7月27日(木) ～10月1日(日)	「蛙」をモチーフとした詩で知られ、2023年に生誕120年を迎えた詩人・草野心平。1934年、心平と中原中也は、同人誌「歷程」の朗読会で出会い、以後交友を結びます。中也は心平らが発行した「歷程」の同人となり、また中也が詩集『山羊の歌』の装幀を高村光太郎に依頼する際、仲介したのが心平でした。中也にとって心平は個人的につきあいのある数少ない詩人の一人であり、また互いの詩を高く評価し合う、詩の良き理解者でもありました。 本展では、いわき市立草野心平記念文学館協力のもと、心平と中也との深い交友と、心平の詩の魅力について紹介しました。	4,229人	
特別企画展プロムナード・トーク	8月13日(日)、 9月23日(土)	特別企画展の会期中に、展示担当職員による展示解説を行いました。	16人	
特別企画展関連イベント 朗読&トーク「心中、詩スルモノアリ——いき・かえる・うた」	8月19日(土)	朗読を重視した心平と中也にちなみ、山口市在住の詩人・桑原滝弥による渾身の朗読パフォーマンスを披露。後半は、中原中也記念館の職員を交えたアフタートークを行いました。	32人	

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
企画展Ⅱ「中也と短歌」	10月4日(水) ～令和6年4月14日(日)	1920(大正9)年2月、中原中也12歳の時、雑誌「婦人画報」に自作の短歌が初めて掲載されました。その後「防長新聞」「文章倶楽部」と発表の場を広げ、2年後には歌会の先輩達と合同歌集『末黒野』を刊行するまでになりました。 山口では少年歌人として活躍した中也でしたが、その後、京都の中学校に転校し、本格的に詩作に取り組むようになってからは、短歌は数えるほどしか制作していません。しかし、歌を詠んだ経験は、詩作にも大きな影響を与えているように思われます。 本展では、山口の歌壇との関わりや、中也の短歌観がわかる文章などを通じて、中也と短歌の関係について探りました。	9,490人	
企画展Ⅱプロムナード・トーク	10月8日(日)、令和6年1月7日(日)、3月30日(土)	企画展Ⅱの会期中に、展示担当職員による展示解説を行っていました。	22人	
屋外展示	前期 5月～10月 後期 11月～令和6年4月	中也ゆかりの山口線をイメージした枕木を一部使用した中庭では、今年のテーマ「友への詩」にちなんだ中也の詩を紹介しました。	—	
特別展示				
震災復興応援企画	4月1日(土) ～令和6年3月31日(日)	中原中也記念館と福島市およびNPO法人「創る村」との交流事業を紹介しました。	19,851人	
第28回中原中也賞	4月26日(水) ～5月28日(日)	受賞作品『そだつのをやめる』と著者(青柳菜摘)を紹介しました。	2,152人	
第8回「ぼうしの詩人賞～あつまれ!未来の中也たち!～」入選作品展示	11月29日(水) ～令和6年1月28日(日)	「ぼうしの詩人賞」の入選作品を展示しました。	2,246人	
「山羊の日」特別展示	11月29日(水) ～12月10日(日)	昭和9年12月10日、中也の生前に刊行された唯一の詩集『山羊の歌』。中也にとって念願の第一詩集が出た記念すべき日を「山羊の日」と名付けてお祝いしました。 今年は、島木健作宛献呈署名入『山羊の歌』(寄贈:川島幸希)を展示しました。	614人	
開館30周年記念 Tシャツデザインコンテスト 受賞作品展示	令和6年2月18日(日) ～4月14日(日)	受賞作品(最優秀賞2点、優秀賞2点、佳作5点)を展示しました。	3,173人 (3月末時点)	
イベント等				
中原中也生誕祭 「空の下の朗読会」	4月29日(土・祝)	毎年、中也の生誕日に館の前庭で開催しており、今年は雨天のためホテルニュータナカで開催。詩の朗読を好んだ中也にならい、自作や愛読の詩を朗読する一般参加の朗読会と、ラッパーのGOMESSによるミニライブを行いました。 このほか、オンライン・イベントとして、朗読を動画でTwitter投稿いただく「中也web朗読会」を行いました。	130人	無料
生誕祭関連イベント 狐の足あととのコラボ企画	4月28日(金)～30日(日)	通常の相互利用割引(入館料100円割引または足湯料金半額)に加えノベルティグッズをプレゼント。 また、狐の足あとで定番の「中也のカフェラテ」に加え記念カフェメニュー(コラボコースター付き)を提供しました。	—	

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
第1回中原中也記念館運営協議会	4月30日(日)	令和4年度事業報告、令和5年度事業計画などを議事に開催しました。	—	
第8回「ぼうしの詩人賞～あつまれ！未来の中也たち！～」	募集： 7月1日(土)～10月8日(日)	帽子をかぶった中也の肖像写真のイメージから名付けられた「ぼうしの詩人賞」。山口市内の小・中学校に在籍する児童・生徒を対象に、「中原中也」や「詩」に触れる機会をつくるため創設しました。応募268篇のうち入選11篇を選考し、12月9日(土)に表彰式・朗読会を、11月29日(水)～令和6年1月28日(日)に入選作品の展示を行いました。	—	
「中原中也研究」第28号	発行：8月31日(木)	中原中也記念館の機関誌として年1回発行しています。今号の特集は「「荒地」派の詩人たちと中原中也」と「未発表詩篇を読む」。	—	2,000円
公開講演（第1回）	9月9日(土)	「中原中也の会」との共催により、講演会を行いました。 講師：川島幸希（秀明大学学長）、演題「署名本の世界—中原中也と四季派の詩集から」	82人	500円(中原中也の会)
入館者80万人達成・記念セレモニー	9月18日(月・祝)	中学生の頃に中也のファンになり初めて記念館にいられた福岡県在住の方に、記念品を贈呈しました。	—	
中也忌	10月22日(日)	中也の命日10月22日、中也が眠る「中原家累代之墓」（吉敷・経塚墓地）において一般参加を募った墓前祭を行いました。また、館内やウェブフォームなどで募集したメッセージ46通を墓前に供えました。 このほか、湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」とのコラボ企画や山口県立大学メイシ交換会運営委員会との共催によるイベントを行いました。	墓前祭参加 16人 県立大学共催イベント 42人	無料
第2回中原中也記念館運営協議会	11月18日(土)	令和5年度事業報告（上半期）、令和6年度事業計画などを議事に開催しました。	—	
開館30周年記念公開講演（第2回）	令和6年2月18日(日)	中也だけでなく、詩人たちの書いた短歌について、穂村弘による講演会を行いました。 講師：穂村弘（歌人）、演題「中原中也をはじめとする詩人たちの短歌」	183人	無料
開館30周年記念創作ワークショップ	令和6年3月9日(土)	言葉や自分自身とじっくり向き合ってみるワークショップ「1首つくり終わるまで出られない短歌教室」を開催しました。 講師：木下龍也（歌人）	25人	無料
館報第29号	発行：令和6年3月31日(日)	寄稿、令和5年度の展示やイベント、新収蔵資料紹介等を掲載する館報を発行しました。	—	無料
中原中也を読む会	毎月第4金曜日	教育普及事業として実施しました。 テーマに沿った中也の詩を読み込んだり、記念館の展示を学芸員の解説とともに見学するなど、気軽におしゃべりしながら、詩の世界を楽しく味わうことができます。	87人	無料

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
開館30周年記念事業	通年	<p>令和6年2月18日に開館30周年を迎えました。</p> <p>さまざまな記念事業の展開に向けた準備として、令和5年度は、30周年記念ロゴマークの作成、オリジナルグッズ第1弾の制作、観覧ポイントカードの配布、各種広報のほか、参加型企画として、記念事業のアイデアを一緒に考えるYouTube配信やグッズとして商品化するTシャツデザインコンテストを行いました。</p> <p>また、2か年にわたる事業として、収蔵資料の高精細デジタル化と公開、中学生向けデジタル版副読本の編集などに着手するとともに、事業検討委員会を設置し、記念館における今後10年間の事業の方向性についての協議・検討を開始しました。</p>	—	

# 山口情報芸術センター [YCAM]

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
<b>20周年記念事業</b>				
第7回 未来の山口の運動会 —あつまれ！未来のスポーツ 収穫祭	5月5日(金・祝)	新しいスポーツを複数人の協働により開発する「スポーツ共創」の山口での実践を紹介し、実際にその手法で生み出された新しいスポーツ種目を実施する運動会形式のイベントを開催しました。	107人	無料
浪のしたにも都のさぶらふぞ	6月3日(土)～9月3日(日)	台湾を拠点に活躍する許家維（シュウ・ジャウェイ）、張碩尹（チャン・ティントン）、鄭先喻（チェン・シェンユウ）の新作を発表する展覧会を開催しました。 展覧会では、日本の近代化とともに産業が発展し、国際貿易港が誕生した北九州の門司および門司港を舞台に、人形浄瑠璃とCGアニメーションを組み合わせ、映像とライブパフォーマンスからなる作品を、YCAM とのコラボレーションにより制作・発表しました。	3,043人	無料
【関連】 台Y祭		映画、音楽、トークを通して台湾の文化と歴史に触れるイベントを、台北駐日経済文化代表処台湾文化センターと共同で開催しました。	—	
台湾映画特集	7月19日(水)～8月6日(日)	台湾の映画を多数紹介する上映プログラムを実施しました。 上映作品数：合計20作品 上映回数：合計47回 観客動員数：合計428名 関連トークイベント回数：3回 関連トークイベント参加者数：合計86名	514人	一般1,300円 any会員・25歳以下・特別割引 1,000円他
美麗島 Underground	8月5日(土)	台湾のインディーズバンドを紹介するライブコンサートを開催しました。	164人	前売 一般2,000円他 当日一律2,500円
ゼロから無限の可能性を生む 文化の生態系	7月22日(土)	台湾・台北市にあるアートセンター、台湾現代文化ラボ（C-LAB）キュレーターの吳達坤（ウー・ダークン）によるトークイベントを開催しました。	33人	無料
台湾と山口の万華鏡	8月6日(日)	山口県出身で、台湾を拠点に活動する文筆家の栖来ひかりによるトークイベントを開催しました。	95人	無料
茶話会	8月6日(日)	トークイベントの後に栖来氏を囲んで茶話会を開催しました。	33人	
【関連】 アーティストトーク	6月3日(土)	許家維、張碩尹、鄭先喻によるトークイベントを開催しました。	89人	無料
【関連】 「The Flavour of Power」 展とのクロストーク	6月4日(日)	6月25日まで開催中の展覧会「The Flavour of Power—紛争、政治、倫理、歴史を通して食をどう捉えるか？」の出品作家と、「浪のしたにも都のさぶらふぞ」の出品作家が両展覧会の共通するトピックについて話すトークイベントを開催しました。	73人	無料
【関連】 サンカクトーク	6月17日(土)、7月9日(日)、23日(日)、8月26日(土)	作品と自分、他者の「三者」を行き来しながら対話をおこなうイベントを開催しました。	22人	無料
【関連】 キュレータートーク	6月18日(日)、7月23日(日)、8月5日(土)	展覧会「浪のしたにも都のさぶらふぞ」のキュレーターによるトークイベントを開催しました。	50人	無料
あそべる図書館— Speculative Library	10月28日(土)～令和6 年2月25日(日)	世界中から知識やアイデアを集め、知恵を生み出すプラットフォームとしての展覧会を開催しました。	9,168人	無料
【関連】 みんなでつくろう！竹ドーム 編	9月30日(土)、10月1日(日)	参加者と一緒に竹でドーム状の空間を作り上げるワークショップを実施しました。	9人	無料
【関連】 みんなでつくろう！サイン編	10月28日(土)	参加者と一緒にミーティング・ドームに設置するサインを作るワークショップを実施しました。	20人	無料

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
【関連】 オープニング・パーティ	10月28日（土）	「あそべる図書館—Speculative Library」の「開館」を記念したパーティを実施しました。	138人	無料
【関連】 Arte Útil ワークショップ	10月29日（日）、11月12日（日）、26日（日）、12月3日（日）、17日（日）、令和6年1月14日（日）、28日（日）、2月4日（日）、18日（日）	「Useful Art（有用芸術／Arte Útil）」と呼ばれる役に立つアートの事例を使って、アートを道具として活用するアイデアをつくり、実践を目指す、ディスカッション形式のワークショップを実施しました。	52人	無料
【関連】 一緒に考えるミーティング	11月11日（土）、18日（土）、12月2日（土）、16日（土）、令和6年1月13日（土）、27日（土）、2月3日（土）、17日（土）、25日（日）	さまざまな知識とアイデアを持つゲストが世界中から会場に集い、レクチャー形式でさまざまなトピックについて参加者とともに考えるミーティングイベントを実施しました。	275人	無料
【関連】 みんなでつくろう！フラッグ編	12月9日（土）	「あそべる図書館」という場から思いつく形や色を想像して、旗（フラッグ）を作るワークショップを実施しました。	10人	無料
【関連】 どこでもアート鑑賞 アーティスト・プレゼンテーション	12月22日（金）	「あそべる図書館」で借りられる作品について、アーティストが解説するプレゼンテーション形式のイベントを実施しました。	15人	無料
【関連】 ともにつくるってなんだろう？	令和6年2月16日（金）	「第7回 未来の山口の運動会—あつまれ！未来のスポーツ収穫祭」に向けて組織された「第7回未来の山口の運動会 実行委員会」の活動内容と、その変遷を題材に、「ともにつくる」＝「共創」について考え、視点を共有するトークイベントを実施しました。	5人	無料
【関連】 どこでもアート鑑賞 ふりかえる会	令和6年2月23日（金）	「あそべる図書館」の「どこでもアート鑑賞」で作品を借りた体験や得られた効果について語り合うイベントを実施しました。	20人	無料
YCAMオープンラボ2023 もうひとつの学び場	11月4日（土）	今日におけるアートや研究開発、公共文化施設のあり方を捉え直すトークイベントを開催しました。YCAM開館20周年記念シンポジウムとして、2003年11月1日に開館した山口情報芸術センター〔YCAM〕の活動を、学校とは異なる「もう一つの学び場」として捉える視点から振り返りました。	45人	
Afternote 山口市 映画館の歴史	11月25日（土）～令和6年3月17日（日）	山口市における映画館の歴史を、市民の記憶と残された資料などの記録を通じて辿る展覧会を開催しました。	6031人	無料
【関連】 アーティストトーク	11月25日（土）	アーティストの志村信裕によるトークイベントを実施し、展覧会のキュレーターとアーティスト・ディレクターも加わり、作品やその制作プロセスについて紹介しました。	100人	無料
【関連】 アフターウォーカー映画館の跡地を辿る	12月3日（日）	山口市中心商店街周辺にかつて存在した5つの映画館の跡地を巡るツアー形式のイベントを実施しました。アーティストの志村信裕をはじめ、展覧会の制作に関わったスタッフがリサーチ中に発見した街についての記録や記憶を、ツアー形式で案内しました。	15人	無料

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
【関連】 金竜館の記憶と記録 1922-1991	12月1日（金）～令和6年1月21日（日）	山口市中心商店街にかつて存在していた映画館「金竜館」の写真や資料を、跡地で営業するCOFFEE BOY山口店で展示する展覧会を開催しました。金竜館の開館時の記念写真をはじめとした貴重な記録をご覧いただけるほか、会期中はCOFFEE BOY山口店限定メニューとして金竜館ブレンドを販売しました。	—	—
【関連】 幻灯機づくりワークショップ	12月23日（土）	映画やアニメーションの始まりと言われる「幻灯機（げんとうき）」を作るワークショップを実施しました。参加者は講師の指示のもと工作用紙で幻灯機を作り、フィルムに絵を描いて上映会をおこないました。	10人	無料
【関連】 古地図で楽しむ 映画館の跡地、映画ロケ地 探訪	令和6年1月17日（水）	かつて映画館があった場所や映画のロケ地に使われた場所を紹介するトークイベントを実施しました。山口駅や湯田温泉近隣の当時の地図をスクリーンに映し出し、周辺の歴史を辿りながら、どのような場所に映画館が存在したのかを読み解きました。	100人	無料
【関連】 35mmフィルムを楽しもう！ 映写技師レクチャー	令和6年1月20日（土）	35mmフィルムの楽しみ方を紹介する、レクチャー形式のトークイベントを実施しました。日本各地の映画祭を飛び回る映写技師で、かつてYCAMのスタッフとして映写に携っていた村岡由佳子を講師に迎え、35mmフィルムでの上映の段取りや、映写機の仕組みを紹介しながら、その楽しみ方を紹介しました。	100人	無料
【関連】 クロージングトーク	令和6年3月17日（日）	アーティストの志村信裕をはじめとする展覧会「Afternote 山口市 映画館の歴史」の制作に関わったスタッフらによるトークイベントを実施し、展覧会の開催を通じて見えてきた来場者の反応などを紹介しました。	94人	無料
YCAMコミュニティラジオ	公開収録： 5月20日(土)、6月18日(日)、7月29日(土)、8月16日(水)、9月9日(土)、10月21日(土)、11月5日(日)、12月10日(日)、令和6年1月7日(日)、2月11日(日)	YCAMのエデュケーションチームがアーティスト、リサーチャー、山口の人たちと共に、メディアテクノロジーのこと、アート作品のこと、暮らしのことなどを発信するラジオ番組を制作し、音楽ストリーミングサービス「Spotify」で公開しました。	再生回数 3,604回	無料

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
アート事業				
The Flavour of Power -紛争、政治、倫理、歴史を 通して食をどう捉えるか？	展示： 令和5年3月11日(土) ～6月25日(日)	インドネシアを拠点に活動するアーティスト集団 「バクダバン・フード・スタディ・グループ」とと もに、食にまつわる調査（食と倫理リサーチ・プロ ジェクト）を山口で実施し、その成果を発表する展 覧会を開催しました。 展覧会では、戦時中の日本とインドネシアとの関わり を起点に、食の背景にあるパワー（政治、流通、 資本など）に目を向け、リサーチの成果を映像イン スタレーション、オリジナルのカードゲーム、資料 展示で発表しました。	2,912人 (R5年度)	無料
【関連】 ハンガー・テイルズ体験会	4月1日(土) ～5月28日(日)毎週土日	カードゲーム「ハンガー・テイルズ」を体験するイ ベントを実施しました。	—	無料
【関連】 ブリーズ・イート・ワイルド リー×YCAMバイオ・リサー チ	令和5年3月18日(土)、19 日(日)、6月10日(土)、11 日(日)	野草採集とバイオテクノロジーを通じて、食材とし ての野生植物の可能性を探るワークショップを実施 しました。	43人	無料
【関連】 アーティストトーク	令和5年3月11日(土)	バクダバン・フード・スタディ・グループに、本展 の見どころや完成までのストーリーを聞くトークイ ベントを実施しました。	36人	無料
【関連】 ギャラリーツアー	令和5年3月11日(土)、12 日(日)、25日(土)、6月18 日(日)	スタッフとともに作品を鑑賞するツアー形式のイベ ントを実施しました。	43人	無料
sound tectonics installation #6 toiret status 新作インスタレーション Sensory Internal Clock (for plants)	令和5年3月25日(土) ～10月1日(日)	中庭を会場にサウンド・インスタレーション作品を 展開する展覧会シリーズ「sound tectonics installation(サウンド・テクトニクス・インスタ レーション)」の第6弾として、音楽家ノビートメ イカーのtoiret statusの新作を発表しました。	6,380人	無料
YCAM Dance Crew 2023 メディア・テクノロジーでダ ンスをパワーアップするワー クショップ	初・中級向け： 7月15日(土)、16日(日) 中・上級向け： 8月12日(土)、13日(日)、 18日(金)～20日(日)	国内外で活躍する振付師と映像プロデューサーを講 師に迎え、参加者がメディア・テクノロジーを用い たダンス映像の創作に挑戦するワークショップを実 施しました。	初・中級： 8人 中・上級： 5人	無料
【関連】 YCAM Dance Crew 2023 ショーケース	8月26日(土) ～11月26日(日)	ワークショップで制作したダンス映像作品をYCAM 館内に展示しました。	—	無料
Yamaguchi Seasonal 2023 ／大友良英＋青山泰知＋伊藤 隆之 without records	7月23日(日) ～11月5日(日) 場所：サテライトA	音楽家の大友良英と美術家の青山泰知、エンジニア の伊藤隆之が、2008年にYCAMで制作／発表した インスタレーション作品《without records》を展 示する展覧会を開催しました。 これまでYCAMで制作／発表してきたインスタレ ーション作品を、山口市の中心市街地や史跡で公開す る「Yamaguchi Seasonal 2023」の一環として開 催しました。	1,081人	無料
【関連】 ギャラリーツアー	7月29日(土)、30日(日)、 8月26日(土)、9月9日 (土)、30日(土)、10月7日 (土)、21日(土) 場所：サテライトA	YCAMスタッフとともに作品を鑑賞するツアー形式 のイベントを開催しました。	30人	無料

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
Yamaguchi Seasonal 2023 ／坂本龍一＋YCAM Forest Symphony	8月11日(金)～11月5日 (日) 場所：常栄寺	音楽家でアーティストの坂本龍一がYCAMとともに制作・発表したインスタレーション作品《Forest Symphony》を展示する展覧会を、雪舟ゆかりの文化財、常栄寺雪舟庭において実施しました。	6,409人	大人300円(常栄寺拝観料)
【関連】 ギャラリーツアー	8月27日(日)、 9月10日(日)、10月1日 (日)、8日(日)、22日(日) 場所：常栄寺	スタッフとともに作品を鑑賞するツアー形式のイベントを実施しました。	34人	—
Audio Base Camp #2	9月22日(金)～24日(日)	国内でも最高レベルの音響環境と言われるスタジオAに、ライブ・コンサート向けの大規模かつ高品質なスピーカーをセッティングし、特定のテーマに沿った録音物を楽しむリスニングイベントを開催しました。	462人	前売 一般1,300円他 当日 一般1,500円他
バック・トゥ・バック・シアター 演劇公演 影の獲物になる狩人	10月14日(土)、15日 (日)	オーストラリアを拠点に、知的障がいのある俳優たちを中心に運営される劇団、バック・トゥ・バック・シアターによる演劇公演を開催しました。	308人	前売 一般3,000円他 当日 一律3,500円
【関連】 ブリトニーの無意識	10月12日(木)	バック・トゥ・バック・シアターの創作過程を垣間見ることができるワークショップを実施しました。	16人	
sound tectonics installation #7 気象を失う	10月22日(日)～令和6 年3月31日(日)	中庭を会場にサウンド・インスタレーション作品を展開する展覧会シリーズ「sound tectonics installation (サウンド・テクトニクス・インスタレーション)」の第7弾として、DJの1729と、音楽家のSUGAI KENによるサウンド・インスタレーション作品を発表しました。	4,792人	無料
【関連】 クロージング・パフォーマンス	3月31日(日)	DJの1729と、音楽家のSUGAI KENによるパフォーマンスを関連イベントとして実施しました。	50人	
わたしもアートがわからない vol.4 知らないうちにはじまっていて、いつ終わるのかわからない	令和6年1月14日(日)	ゲストとして写真家の金川晋吾、またモデレーターとして鑑賞教育の研究を行ってきた原泉を迎え、「知らないうちにはじまっていて、いつ終わるのかわからない」ものについて考えを深めました。	70人	無料
sound tectonics #26 manami kakudo / Contact 0	令和6年1月28日(日)	国内外の最先端のサウンド・アート、音楽表現を紹介するライブコンサートシリーズ「sound tectonics」の第26弾として、角銅真実band setと夏の大△(さんかく)のライブコンサートを開催しました。	153人	前売 一般3,500円他 当日 一律4,000円
シネマ事業				
真夏の夜の星空上映会 2023	8月10日(木)～13日(日)	夏休み期間に、隣接する中央公園で開催するYCAM恒例の野外上映イベントを開催しました。開館20周年となる本年度は、通常3日間のところ、4日間に渡って4本の映画を上映しました。多彩なジャンルの映画を上映することから、親子連れからお年寄りまで多くの方々が来場し、YCAMの「夏の風物詩」として、大きな賑わいを見せていました。	2,161人	無料

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
YCAM爆音映画祭 2023	9月15日(金)~18日(月)	ライブ・コンサート向けの大規模かつ高品質なスピーカーを用いて映画を鑑賞する、毎年恒例の上映イベントを開催しました。『バーフバリ』で知られるラージャマウリ監督の最新作『RRR アールアールアール』や、無声映画に合わせて演奏する無声映画ライブ上映のほか、新鋭・甫木元空（ほきもと・そら）監督『はだかのゆめ』の上映後に、ミュージシャンとしても活動する甫木元のライブとトークイベントも開催しました。	1,582人	前売 1回券 一般1,300円他 3回券 一般3,600円他
【関連】 バックステージツアー	9月16日(土)	「YCAM爆音映画祭2023」の舞台裏に迫り、映画における音の魅力を探るイベントをおこないました。このイベント用の特別な素材を使い、「爆音」仕様での上映の仕組みを掘り下げました。	92人	無料
YCAMシネマ	通年	古典から最新作、地方では上映機会の少ない海外作品まで幅広く上映をおこないました。また、上映に合わせて、監督や出演者らのトークイベントも随時開催し、映像作品への理解を深める機会を提供しました。 期間：令和5年4月1日(土)から令和6年3月31日(日) 上映作品数：合計127作品 上映回数：合計867回 観客動員数：合計14443名 関連トークイベント回数：29回 関連トークイベント参加者数：合計1,461名	14,443人	一般1,300円 any会員・25歳以下・特別割引800円

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
地域開発事業				
【アートでつなぐまちの活性化事業】 架空の学校「アルスコレ」	説明会等： 5月13日(土)～10月29日(日) 場所：山口市中心商店街(山口市道場門前)、サテライトA等	アートや学びに関するイベントの企画制作に携わる人材を育成するプログラムをおこないました。公募で集まった35名の参加者が、3つのコースに分かれ、活動を進めました。	35人 (登録者数)	無料
アーティストと作品制作	6月10日(土)～ 活動日数:19日 場所：サテライトA、協力店舗(山口市道場門前)等	「without records」の改訂版を、アーティストと参加者がワークショップを通じて共同で制作し、商店街の店舗で展示しました。	200人	
サウンドスコレ	7月23日(日) 場所：山口市中心商店街 どうもん広場(山口市道場門前)	プログラムの現状を発表する場として、アーティストによるトークイベントやコンサートを行う他、商店街の店舗による屋台なども出店しました。	1,410人	
商店街を美術館に変える	8月19日(土)～ 活動日数:51日 場所：山口市中心商店街(山口市道場門前)	山口で作品の制作、発表などを行ってきたアーティストを招聘し、商店街で開催する展覧会の企画、運営をおこないました。	472人	
拠点となる物件の運営	8月26日(土)～ 活動日数:27日 場所：tog(山口市駅通り)	山口駅前にある小さな拠点「tog(とぐ)」をカフェやイベントスペースとして活用し、参加者と企画したお店をそれぞれ開店しました。	578人	
辰巳さんに聞く、事物の愛で方と物事の起こし方	9月2日(土)	京都府を拠点に蒐集家・調査員として活動する辰巳雄基を迎えたトークイベントをおこないました。	60人	
Recording us ～私とあなたとこの街の音～	10月14日(土)	商店街で「音」を採集するワークショップを実施しました。	5人	
ART TEMPO RALLY	10月27日(金)～11月5日(日)	山口市にゆかりのある3名のアーティストの作品を山口市中心商店街の店舗で紹介する展覧会を開催しました。	873人	無料
ギャラリーツアー	10月28日(土)、29日(日)	「ART TEMPO RALLY」の作品を深く理解する機会とするためギャラリーツアーを実施しました。	42人	
オープンスコレ2023	10月29日(日)	アートや学びに関する人材育成プログラム「やまぐちアートコミュニケータープログラム2023：架空の学校『アルスコレ』」の成果を発表するイベントを開催しました。	2,050人	
【アートでつなぐまちの活性化事業】 コロガルあそびのひやかてん	7月8日(土)～9月10日(日)、11月11日(土)～令和6年1月14日(日) 場所：山口井筒屋(山口市中市町)	子どもたちが遊びを通じて自ら考え、創造するための環境としてデザインされた遊び場「コロガル公園シリーズ」の最新版を、山口市中心市街地活性化推進室と協働で実施しました。 様々な人々が行き交う百貨店や商店街の特性を活かし、子どもたちのアイデアに対してさまざまな人々からフィードバックを受けることで、遊びを通じて他者や社会とつながる「コミュニケーションツール」としての公園を実現しました。	21,425人	無料
【関連】 子どもあそびばミーティング	8月26日(土) 場所：山口井筒屋(山口市中市町)	「コロガルあそびのひやかてん」を利用する子どもたちとYCAMのスタッフが、コロガルあそびのひやかてんをより良くするためのアイデアについてディスカッションするイベントを実施しました。	9人	無料
【関連】 コロガルしょうてんがい with リトル・シーカーズ	令和6年1月13日(土) 場所：山口井筒屋(山口市中市町)	「コロガルあそびのひやかてん」や山口市の学童保育クラブ「リトル・シーカーズ」を利用する子どもたちのアイデアで生まれた小さなお店が集まるマルシェイベントを実施しました。	351人	無料

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
未来の山口の授業 at School 2023	通年実施	「未来の山口の授業 at School」とは、YCAMで開発された様々な教育プログラムを地域の公教育の場へ応用する取り組みです。山口市教育委員会や学校の先生、生徒らとともに授業開発をおこない、教育現場での実践を目指します。 各プログラムの詳細は以下のとおりです。 なお、本教育プログラムは、第17回 キッズデザイン賞（主催：特定非営利活動法人キッズデザイン協議会）において経済産業大臣賞（優秀賞）を受賞するとともに、公益財団法人日本グッドデザイン振興会が主催する「2023年度グッドデザイン賞」を受賞しました。	—	
教員研修	10月6日(金) YCAMスタジオB	中学校の美術教師研修として、「フレッタアニメーション」の活用方法に関するレクチャーをおこないました。	11人	無料
360°図鑑	八坂小学校、小郡小学校	小学生が、自分達が住む地域について調べ、記したぐるっと360°見渡せる手作りのウェブ図鑑です。生活科や社会科などの授業で実施されている地域学習を発展させ、WEB上で閲覧可能な地域図鑑を児童たちと制作しました。この図鑑を作成するワークショップのなかで、他者との協働による調査方法やメディアの効果的な活用方法について学びました。	学校数 小学校2校	無料
デジタル壁画「うご板」	大殿中学校	10月28日に行われた大殿中学校の文化祭において、GIGAスクール構想に伴って配備されたタブレット端末を活用して映像表現を学ぶプログラム「うご板」でデジタル壁画を発表しました。 コラボレーターに秋田公立美術大学准教授の萩原健一を迎え、同氏がこれまでに開発／実施してきたアニメーション制作手法を採用。学校の文化祭では「壁画」は代表的なコンテンツのひとつですが、ICT教育を取り入れた新たな壁画のかたちを提案しました。	学校数 中学校1校	無料
未来の山口の授業 at School 2023 成果展	12月2日（土）～令和6年 3月10日（日）	これまで本プロジェクトで開発してきた「新しい授業」を紹介する展示です。 これまで山口市内の公立小学校で実施してきた「360°図鑑」の成果を閲覧できるコーナーや、10月に大殿中学校の文化祭で披露した「うご板」を活用したデジタル壁画の展示、また「うご板」そのものの体験コーナーなど、来場者にカリキュラムを体感してもらえるような展示物が並びました。	—	無料
やまぐちアートピクニック 2024	令和6年3月23日（土）～ 31日（日）	過去に「やまぐち新進アーティスト大賞」を受賞したアーティストの展覧会を市内大殿大路・一の坂川周辺の7カ所で開催しました。	492人	無料
【関連】 アーティストトーク	3月23日（土）	「やまぐちアートピクニック2024」の参加アーティストによるトークイベントを開催しました。	25人	無料
【関連】 ギャラリーツアー	3月24日（日）、31日 （日）	「やまぐちアートピクニック2024」の作品を深く理解する機会とするためギャラリーツアーを実施しました。	11人	無料

## 2 受託施設利用状況

### (1) 山口市民会館

#### ・大ホール

月	開館日数	使用日数	使用率(%)	使用件数	入場者数
4	30	5	16.7	4	1,724
5	31	10	32.3	8	4,285
6	30	8	26.7	6	4,550
7	31	17	54.8	11	4,950
8	31	18	58.1	12	3,920
9	30	10	33.3	6	3,659
10	31	15	48.4	6	3,196
11	30	17	56.7	14	7,300
12	29	16	57.1	10	8,450
1	28	11	39.3	10	3,910
2	29	8	27.6	7	2,650
3	31	17	54.8	7	4,371
計	361	152	42.1	101	52,965

#### ・小ホール

月	開館日数	使用日数	使用率(%)	使用件数	入場者数
4	30	10	33.3	9	457
5	31	12	38.7	10	702
6	30	13	43.3	12	464
7	31	16	51.6	12	1,620
8	31	20	64.5	14	2,255
9	30	11	36.7	10	536
10	31	20	64.5	12	1,497
11	30	20	66.7	18	1,307
12	29	22	78.6	18	920
1	28	14	50.0	8	633
2	29	25	86.2	12	1,130
3	31	27	87.1	14	2,005
計	361	210	58.2	149	13,526

#### ・展示ホール

月	開館日数	使用日数	使用率(%)	使用件数	入場者数
4	30	6	20.0	3	300
5	31	13	41.9	4	1,205
6	30	16	53.3	7	1,822
7	31	13	41.9	8	1,379
8	31	18	58.1	11	1,227
9	30	9	30.0	6	778
10	31	21	67.7	6	1,857
11	30	16	53.3	10	1,076
12	29	20	71.4	11	1,008
1	28	12	42.9	6	744
2	29	24	82.8	5	450
3	31	18	58.1	6	1,376
計	361	186	51.5	83	13,222

## (2) 中原中也記念館

(単位:人)

月	一般	学生	年間 パスポート	減額	無料・免除		合計			開館日数(日)			平均入館者数		
					18歳 以下	その他	全体	平日	土日祝	全体	平日	土日祝	全体	平日	土日祝
4月 (うち団体)	570	28	0	22	301	1,426	2,347	550	1,797	24	14	10	98	39	180
5月 (うち団体)	1,013	36	0	21	152	401	1,623	644	979	26	15	11	62	43	89
6月 (うち団体)	851	36	0	15	59	331	1,292	538	754	25	17	8	52	32	94
7月 (うち団体)	682	36	0	14	103	262	1,097	363	734	24	13	11	46	28	67
8月 (うち団体)	1,414	109	0	47	458	386	2,414	1,394	1,020	27	18	9	89	77	113
9月 (うち団体)	915	101	0	25	88	369	1,498	620	878	25	15	10	60	41	88
10月 (うち団体)	837	47	0	21	98	748	1,751	649	1,102	24	14	10	73	46	110
11月 (うち団体)	944	50	0	19	73	559	1,645	734	911	25	15	10	66	49	91
12月 (うち団体)	627 (1)	82 (41)	0	13	89	241	1,052 (42)	535	517 (42)	23	15	8	46	36	65
1月 (うち団体)	674	45	0	21	115	236	1,091	443	648	22	13	9	50	34	72
2月 (うち団体)	901	74	0	23	180	801	1,979	606	1,373	22	12	10	90	51	137
3月 (うち団体)	1,193 (59)	98	0	33	254	484	2,062 (59)	933	1,129 (59)	26	15	11	79	62	103
合計 (うち団体)	10,621 (60)	742 (41)	0	274	1,970	6,244	19,851 (101)	8,009	11,842 (101)	293	176	117	68	46	101
割合	53.5%	3.7%	0.0%	1.4%	9.9%	31.5%	100.0%								
開館後 累計 (うち団体)	592,232 (38,101)	31,185 (2,936)	492	5,025	48,079 (3,754)	133,247	810,260 (44,791)	361,268 (28,893)	448,992 (15,898)	8,791	5,396	3,395	92	67	132
開館後 割合	73.1%	3.8%	0.1%	0.6%	5.9%	16.4%	100.0%								

### (3) 山口情報芸術センター

#### ・月別入場者内訳

月	開館日数	入館者数	平均入場者数
4	25	35,325	1,413
5	26	41,353	1,591
6	26	33,299	1,281
7	27	35,470	1,314
8	26	39,248	1,540
9	26	37,426	1,439
10	26	37,092	1,427
11	26	39,124	1,505
12	24	31,121	1,297
1	24	33,558	1,398
2	23	35,319	1,536
3	21	30,803	1,467
計	300	429,138	1,430

#### ・スタジオA月別使用内訳

月	開館日数	使用日数	使用率(%)	使用件数	入場者数
4	25	14	56%	7	155
5	26	24	92%	3	107
6	26	26	100%	1	908
7	27	27	100%	1	791
8	26	26	100%	1	1,122
9	26	20	77%	3	2,266
10	26	9	35%	2	642
11	26	10	38%	4	161
12	24	4	17%	3	210
1	24	8	33%	2	223
2	23	2	9%	2	0
3	21	12	57%	3	0
計	300	182	61%	32	6,585

#### ・スタジオB月別使用内訳

月	開館日数	使用日数	使用率(%)	使用件数
4	25	25	100%	1
5	26	26	100%	1
6	26	23	88%	1
7	27	11	41%	3
8	26	14	54%	3
9	26	3	12%	1
10	26	5	19%	2
11	26	19	73%	1
12	24	24	100%	1
1	24	24	100%	1
2	23	23	100%	1
3	21	20	95%	2
計	300	217	72%	18

・スタジオC月別使用内訳

月	開館日数	使用日数	使用率(%)	使用件数
4	25	25	100%	36
5	26	25	96%	37
6	26	26	100%	37
7	27	27	100%	39
8	26	25	96%	37
9	26	26	100%	34
10	26	25	96%	37
11	26	26	100%	38
12	24	24	100%	33
1	24	24	100%	35
2	23	23	100%	33
3	21	20	95%	31
計	300	296	99%	427

・多目的室月別使用内訳

月	開館日数	使用日数	使用率(%)	使用件数
4	25	15	60%	29
5	26	14	54%	23
6	26	20	77%	39
7	27	22	81%	34
8	26	18	69%	23
9	26	22	85%	30
10	26	22	85%	34
11	26	20	77%	29
12	24	14	58%	18
1	24	19	79%	34
2	23	13	57%	20
3	21	18	86%	29
計	300	217	72%	342

令和5年度 山口情報芸術センター 視察・見学一覧

NO.	日付	来館者	地域	人数	視察/見学
1	4月16日	Ewen Chardronnet氏、Cherise Fong氏、大山龍氏	県外	3	視察
2	4月19日	石橋友也氏（アーティスト）	県外	1	視察
3	4月23日	奥津聖先生を偲ぶ会	県外、県内、市内	15	見学
4	5月24日	公州市公式訪問団（市長・関係課長、通訳（6名） +市国際交流室1名）	韓国、県外、市内	7	視察
5	5月26日	山口市立名田島小学校4年生	市内	28	見学
6	6月2日	大田佳栄（スパイラルキュレーター）	県外	1	視察
7	6月1日	佐々木玄太郎氏	県外	1	視察
8	6月7日	崔敬華氏（東京都現代美術館 学芸員）	県外	1	視察
9	9月19日	島根県立津和野高校	県外	23	見学
10	6月24日	慶野 結香（キュレーター／青森公立大学 国際芸術センター青森 [ACAC] 学芸員	県外	1	視察
11	6月29日	山口市立中央小学校・島地小学校4年生	市内	18	見学
12	7月20日	女子美術大学アートプロデュース研究室	県外	21	見学
13	7月21日	京都府議会議員12名+事務局2名	県外、市内	14	視察
14	7月21日	逢坂恵理子氏（国立新美術館長）	県外	1	視察
15	7月26日	邱誌勇教授（国立精華大学科学技術研究所）	台湾	1	視察
16	7月27日	なかよし第2学級（白石小学校放課後児童クラブ）	市内	6	見学
17	7月30日	橋本梓氏（国立国際美術館主任研究員）	県外	1	視察
18	7月31日	ドリユン・チョン氏（香港の美術館「M+」副館長兼チーフキュレーター） 高美玲氏（国立新美術館国際連携室シニアプロジェクト・マネージャー） 吉野律氏（国立新美術館国際連携室プロジェクト・マネージャー） 尹志慧氏（国立新美術館研究員）	香港、県外	1	視察
19	8月6日	富本浩一郎氏（山口大学）、小林大祐氏（GoodJob! Center）	市内	2	視察
20	8月10日	羽鳥祐樹氏（九州芸文館）	県外	1	視察
21	8月18日	静岡県新図書館整備室(教育委員会社会教育課)5名 アドバイザー2名	県外	7	視察
22	8月19日	塚原悠也氏（アーティスト）	県外	1	視察
23	8月24日	市役所インターン大学生6名+市職員2名	市内	8	見学
24	8月31日	西川美穂子氏（東京都現代美術館学芸員） 田村友一郎氏（アーティスト）	県外	2	視察
25	9月15日	内田真一氏（公益財団法人福武財団）	県外	1	視察
26	9月21日	マシュー・ギンゴールド氏（メディアアーティスト）	オーストラリア	1	視察
27	9月22日	ウェンデルリン・ファン・オルデンボルフ氏（アーティスト）	ドイツ	1	視察
28	9月22日	山口市立小郡小学校5年生	市内	72	見学
29	9月25日	山口県デジタル推進拠点デジテック事業関係者	市内	8	視察

30	10月4日	アルスエレクトロニカセンター 清水陽子氏	オーストリア	1	視察
31	10月13日	韓国光州市ACC (Asia Culture Center) キム・ジハ氏 他3名	韓国	4	視察
32	10月13日	佐賀県議会議員10人+随員4人	県外	14	視察
33	10月16日	ホワン・ヤーリー氏 (ドキュメンタリー映画監督)	台湾	1	視察
34	10月20日	周南市立福川南小学校4年生	県内	23	見学
35	10月25日	練馬区議会議員10人+随員4人	県外	14	視察
36	10月27日	大阪府八尾市議会議員7人+随員1人	県外	8	視察
37	10月28日	早稲田大学教授	県外	1	視察
38	11月4日	九州大学芸術工学部教諭、学生	県外	17	視察
39	11月10日	ベルリン工科大学 ヨルク・グライダー教授	ドイツ	1	視察
40	11月15日	波多野建築設計事務所	市内	3	視察
41	11月17日	山口市立佐山小学校5年生	市内	34	見学
42	11月22日	KDDIホール森ビル企画	市内	3	視察
43	11月27日	リチャード・シーガル氏 (振付家・ダンサー)	ドイツ	1	視察
44	11月29日	Toyota woven city 菊池裕史氏	県外	1	視察
45	12月1日	Arts Council Korea	県外	8	視察
46	12月8日	チェ・ソッキュ氏 (ソウル国際公演芸術祭芸術監督) 河合温美氏 (国際交流基金) ホン・ミョンファ氏 (日韓演劇交流センター)	韓国 県外	3	視察
47	12月8日	久野 崇文 (日本テレビ放送網株式会社/データマネジメント室R&Dラボ)	県外	1	見学
48	12月9日	熊倉敬聡 (芸術文化観光専門職大学 学術情報センター長)	県外	1	視察
49	12月11日	山口大学教育学部附属山口小学校6年生	市内	35	見学
50	12月13日	福岡県 人づくり・県民生活部 文化振興課 新県立美術館建設室 藤本真帆氏、井出真由美氏	県外	2	視察
51	12月14日	みんなの森 ぎふメディアコスモス	県外	1	視察
52	12月18日	Chamber Made (劇場) Kylie McRae氏 (エグゼクティブ・プロデューサー)	オーストラリア	1	視察
53	12月25日	森田菜絵氏 (日本科学未来館科学コミュニケーション室/ 中谷宇吉郎記念財団アドバイザー) 他1名	県外	2	視察
54	1月6日	山形県鶴岡市「キッズドーム ソライ」 渡邊敦氏、若林美和氏、石橋綾子氏	県外	3	視察
55	1月13日	広島庄原町新市自治会みんなの会	県外	9	視察
56	1月17日	山口県立山口南総合支援学校中学部1年	市内	10	見学
57	1月18日	山口大学 冨本浩一郎氏、学生	市内	24	見学
58	2月9日	神奈川工科大学 村上寛光氏	県外	1	視察
59	2月12日	都城市立図書館 坂田美由紀氏	県外	1	視察
60	2月15日	練馬区美術館 根岸氏 他1名	県外	2	視察
61	2月17日	山崎隆正氏、福武財団職員2名	県外	3	視察
62	2月17日	株式会社MIMIGURI 白井隆志氏 株式会社まちづくりクリエイティブ 寺井元一氏	県外	2	視察
63	2月21日	鳥取県商店街振興組合連合会	県外	5	視察
64	2月22日	積水ハウス	県外	2	視察
65	2月23日	Code for Japan 武貞真未氏 日本科学振興協会JAASシチズン・サイエンス研究員	県外	6	視察

66	2月23日	国立映画アーカイブ主任研究員 岡田秀則氏	県外	1	視察
67	2月26日	チームラボ株式会社 Lin Mei Chu(リンメイチュ) 氏	県外	1	視察
68	3月2日	川崎義博氏 (サウンドアーティスト/京都市立芸術大学 芸術資源研究センター)	県外	1	視察
69	3月6日	株式会社openA 内海氏	県外	1	視察
70	3月8日	八戸市美術館館長 佐藤慎也氏	県外	1	視察
71	3月9日	松本清張記念館 学芸員 柳原暁子氏	県外	1	視察
72	3月10日	全国公立文化施設協会専務理事 岸正人氏	県外	1	視察
73	3月10日	慶應義塾ミュージアムcommons 大島氏	県外	1	視察
74	3月14日	新潟県小千谷図書館施設プランナー 黒沢けんじ氏	県外	1	視察
75	3月28日	ダンスカンパニーんまつーぽす 豊福彬文氏	県外	1	視察
				506	

### 3 庶務事項

#### (1) 役員に関する事項

- ・理事及び監事 11名 (理事任期：令和5年6月21日～令和7年6月)  
(監事任期：令和5年6月21日～令和9年6月)

役 職	氏 名
理 事 長	中 野 勉
理 事	大 庭 達 敏
理 事	有 吉 雅 子
理 事	山 口 光
理 事	武 田 雅 行
理 事	菊 屋 吉 生
理 事	河 野 通 孝
理 事	藤 本 孝 治
常務理事	磯 部 素 男
監 事	濱 田 和 昌
監 事	宇 高 壽 子

(順不同)

#### ・理事会開催状況

開催年月日	審 議 事 項
令和5年5月26日	議案第1号 令和4年度事業報告及び附属明細書について（書面決議） 議案第2号 令和4年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書） 及び附属明細書並びに財産目録について（書面決議） 議案第3号 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について（書面決議）
令和5年6月21日	議案第1号 理事長の選定について（書面決議） 議案第2号 常務理事の選定について（書面決議） 議案第3号 令和5年度公益会計補正予算について（書面決議）
令和5年11月1日	議案第1号 令和5年度公益目的事業会計補正予算について 議案第2号 公益財団法人山口市文化振興財団一般職員就業規則の一部 改正について 議案第3号 公益財団法人山口市文化振興財団専門員就業規則の一部改 正について 議案第4号 公益財団法人山口市文化振興財団副専門員就業規則の一部 改正について 議案第5号 公益財団法人山口市文化振興財団事務企画員就業規則の一 部改正について 議案第6号 公益財団法人山口市文化振興財団常勤特別任用職員就業規 則の一部改正について

	報告事項 令和5年度事業執行の状況について（上半期）
令和6年3月22日	議案第1号 令和6年度事業計画について 議案第2号 令和6年度法人会計予算について 議案第3号 令和6年度公益目的事業会計予算について 議案第4号 令和6年度収益事業等会計予算について 議案第5号 令和5年度公益目的事業会計補正予算について 議案第6号 公益財団法人山口市文化振財団専門員就業規則の一部改正について 議案第7号 公益財団法人山口市文化振財団副専門員就業規則の一部改正について 議案第8号 公益財団法人山口市文化振財団事務企画員就業規則の一部改正について 議案第9号 公益財団法人山口市文化振財団常勤特別任用職員就業規則の一部改正について 議案第10号 公益財団法人山口市文化振財団非常勤特別任用職員就業規則の一部改正について 議案第11号 評議員会の日程及び場所並びに目的である事項等について 報告事項 令和5年度 事業執行の状況について（下半期）

## （2）評議員に関する事項

- ・評議員4名（任期：平成5年6月21日～令和11年6月）

氏 名
齋 藤 宗 房
吉 光 純 也
福 田 祥 介
田 中 和 人

（順不同）

- ・評議員会開催状況

開催年月日	審 議 事 項
令和5年6月21日	議案第1号 令和4年度事業報告及び附属明細書について 議案第2号 令和4年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録について 議案第3号 評議員の選任について 議案第4号 評議員の選任について 議案第5号 評議員の選任について 議案第6号 評議員の選任について 議案第7号 役員（理事）の選任について 議案第8号 役員（理事）の選任について 議案第9号 役員（理事）の選任について

	議案第10号 役員（理事）の選任について 議案第11号 役員（理事）の選任について 議案第12号 役員（理事）の選任について 議案第13号 役員（理事）の選任について 議案第14号 役員（理事）の選任について 議案第15号 役員（理事）の選任について 議案第16号 役員（監事）の選任について 議案第17号 役員（監事）の選任について
令和6年3月31日	議案第1号 役員（理事）の選任について（書面決議） 議案第2号 役員（監事）の選任について（書面決議）

### （3）登記及び届出

#### ・登記

登記原因発生	申請先	事由	登記年月日
令和5年3月31日	山口地方法務局	監事の辞任	令和5年5月25日
令和5年4月1日	山口地方法務局	監事の就任	令和5年5月25日
令和5年6月21日	山口地方法務局	理事及び監事並びに評議員の重 任	令和5年8月14日

#### ・主務官庁への届出

届出年月日	届出先	届出事項
令和5年6月2日	山口県	変更の届出（監事の辞任及び就任）

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、附属明細書は作成しない。

令和6年5月  
公益財団法人山口市文化振興財団